



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

2009年、平成21年も最後の月となった。

普段何も気にせず日々を過ごしていると、気がついたら1年が終わっていた、とすることはないだろうか。

1年という時間は、あっという間に流れ、1ヶ月はもっと早く、1日はさらに瞬間に終わってしまう。

人間、年を重ねると体感時間が早くなってくると言われている。子供の頃の1日は、どれだけ長く感じたことか。それが今では大袈裟ではなく、1日が1時間ぐらいに思えるようになってきた。

あれもしなければ、これもしなければ。そう思っているうちに1日が終わってしまう。

やりたいことが山ほどあるのに、なかなか進まない。しかし、これは言い訳。時間のせいにはいけないのだ。

1日が短いと思ったら、もっと1時間、1分、1秒単位で物事を進めていけば良い。

一瞬一瞬に頭のとっぺんから足のつま先まで意識を集中して物事を進めてみる。

要は集中力なのだ。

気が抜けてダラダラとしていると何もできないまま、あっという間に時は過ぎていく。

もちろん集中して物事を進めていても、あっという間に時は過ぎるが充実度が全く違う。

集中している方が心地良く、エネルギーが満ち溢れてくるのだ。

時間と共に生きていく。時間の無駄遣いはしない。時間を有効に使う。

そう、人生の時間は限られているのだから。

いつ寿命が尽きるかは誰にも分からない。

働くときは集中して働く。遊ぶときは遊ぶ。寝るときは寝る。

今、何をすべきかをしっかり意識して1秒、1時間、1日、1ヶ月、1年と過ごしていく。

あっという間に時間は去っても、何をしてきたかという事を人生のキャンパスに足跡として残せば良い。

いやでも時は流れていくもの。

それでは何を残す？

そう、目には見えなくても心に残る生き方。これが時間に打ち克つ生き方ではないだろうか。

人の一生なんて短く儂いもの。

それでも集中して生きている人の瞬間瞬間の積み重ねは、とてつもなく大きなエネルギーになって、次の世代に受け継がれていく。

若かりうが、老いていようが関係ない。瞬間瞬間を集中して熱く生きていければ、時間さえ克服していけるはず。

そして、何かは残せているはずである。

思い立ったが吉日ではないが、この文を読んだ瞬間から意識してもらいたい。

何をしているのか。何をすべきか。そして、今ここに生きているという事を。

これからも様々な苦難や困難が目前に控えているだろう。

それでも逃げる事は許されない。あらゆる障害も立ち向かっていく勇気と行動。

生きているうちに名を残そうとは思わないで欲しい。

時間を克服する生き方をすれば、必ず死んだ後には名は残るはず。

2010年平成22年は生き方をテーマにしていこうではないか。

時間に感謝し、生きている事に感謝。

その為には、無駄な生き方をせず、生きている時間に恩返しをしていこうではないか。

瞬間瞬間を意識して熱く、冷静に、そして全力を尽くす生き方を。



平成武師道の同志の皆様、今年もありがとうございました。

来年もさらに気合いを入れて頑張る所存ですので、よろしくお願ひします。

押忍！！

佐々木